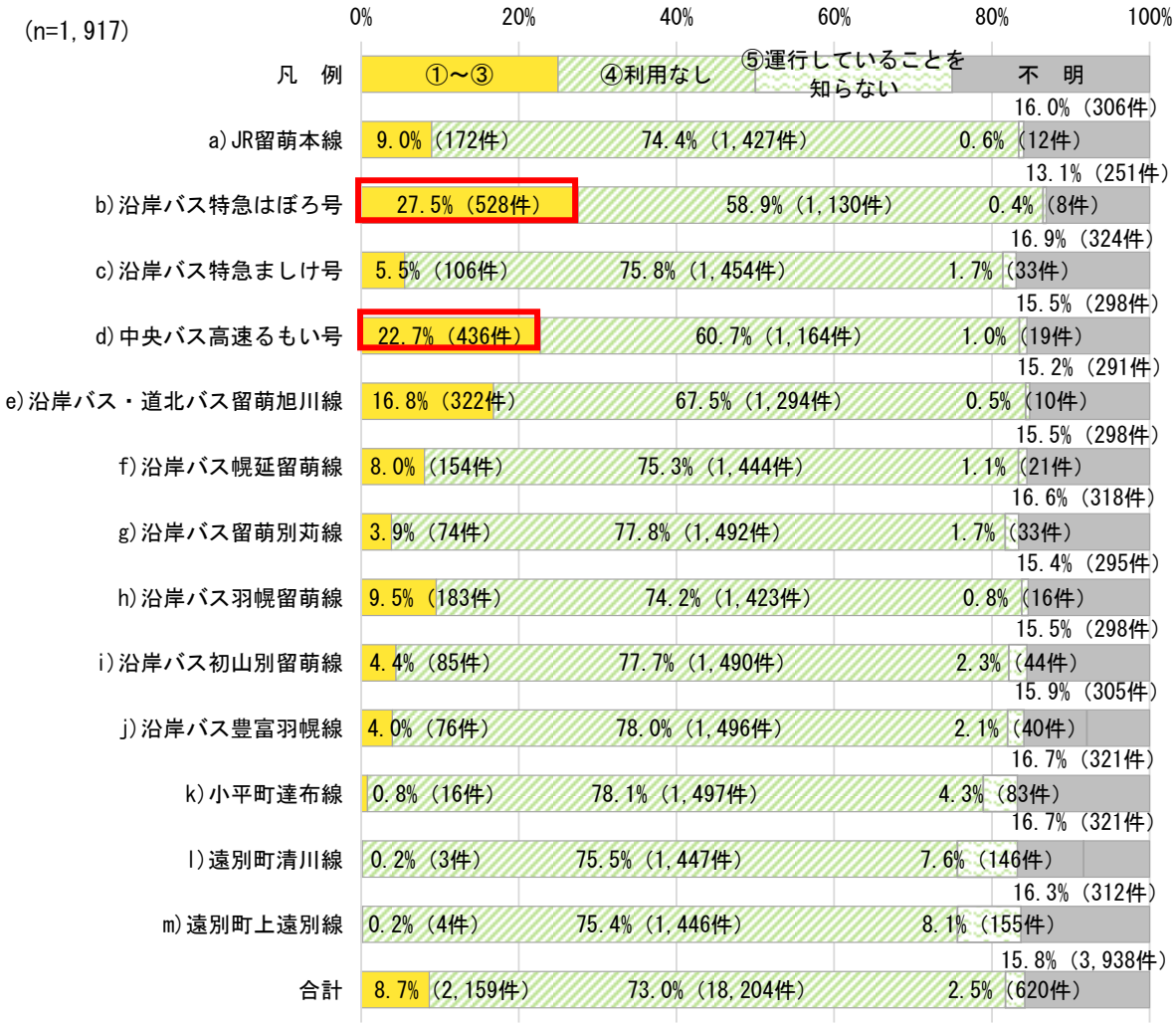
2) 公共交通などによる日常的な外出について

Q11. 各公共交通の利用及び認知状況

各公共交通の利用について、「④利用しない」と回答した割合が多く、特急はぼろ号が27.5%、高速るもい号が22.7%の年数回以上利用(①～③)の回答となっている。



①週に数回利用　②月に数回利用　③年に数回利用

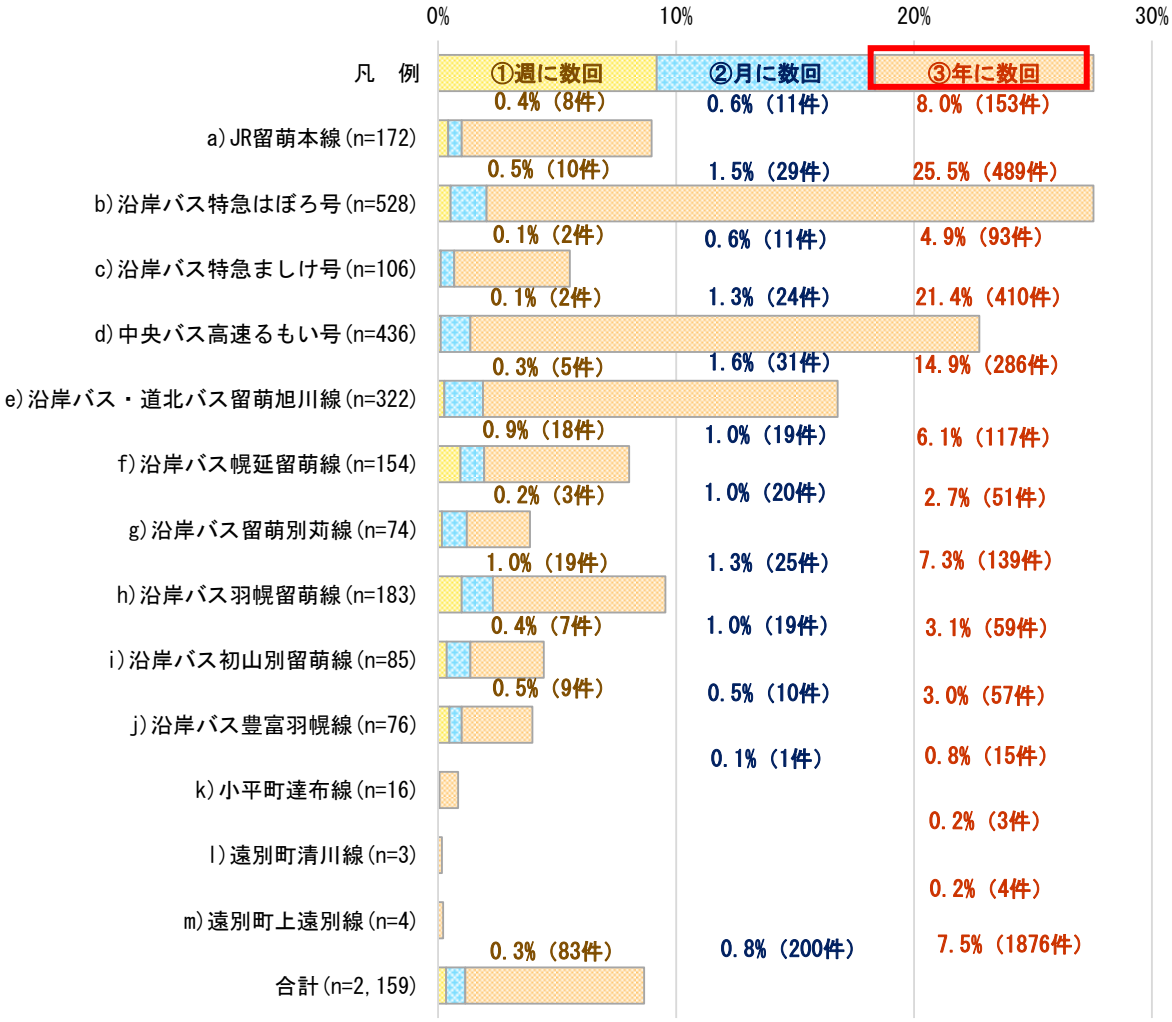
全回答者(n=1,917)に対する回答

「合計」は13路線分(n=24,921)に対する回答

図 1-36　Q11.公共交通の利用及び認知状況(1/2)

【「Q11. 各交通手段の利用状況」のうちの利用頻度】

前頁の①～③の内訳を見ると、各交通手段の利用状況としては、「③年に数回」が全体で7.5%となり、特急はぼろ号では 25.5%、高速るもい号では 21.4%、幌延留萌線では 6.1%となっている。



全回答者(n=1,917)に対する回答

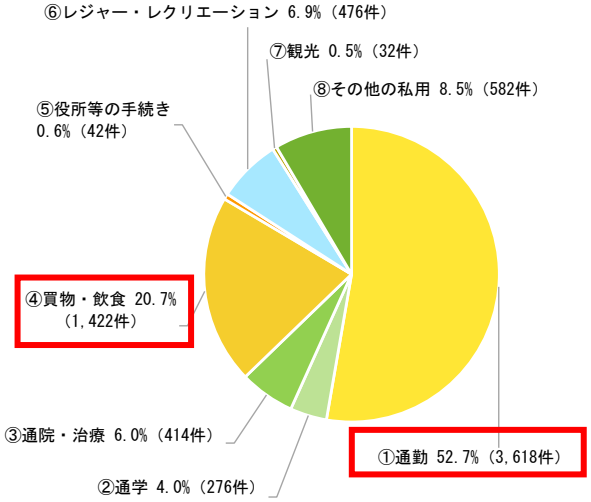
「合計」は 13 路線分(n=24,921)に対する回答

図 1-37　Q11.公共交通の利用及び認知状況(2/2)

Q12. 先週1週間の外出状況

Q12－1. 外出目的

外出目的について、「①通勤」が 52.7%と半数を占めるが、「④買物・飲食」は 20.7%と、「①通勤」に次いで多くなっている。

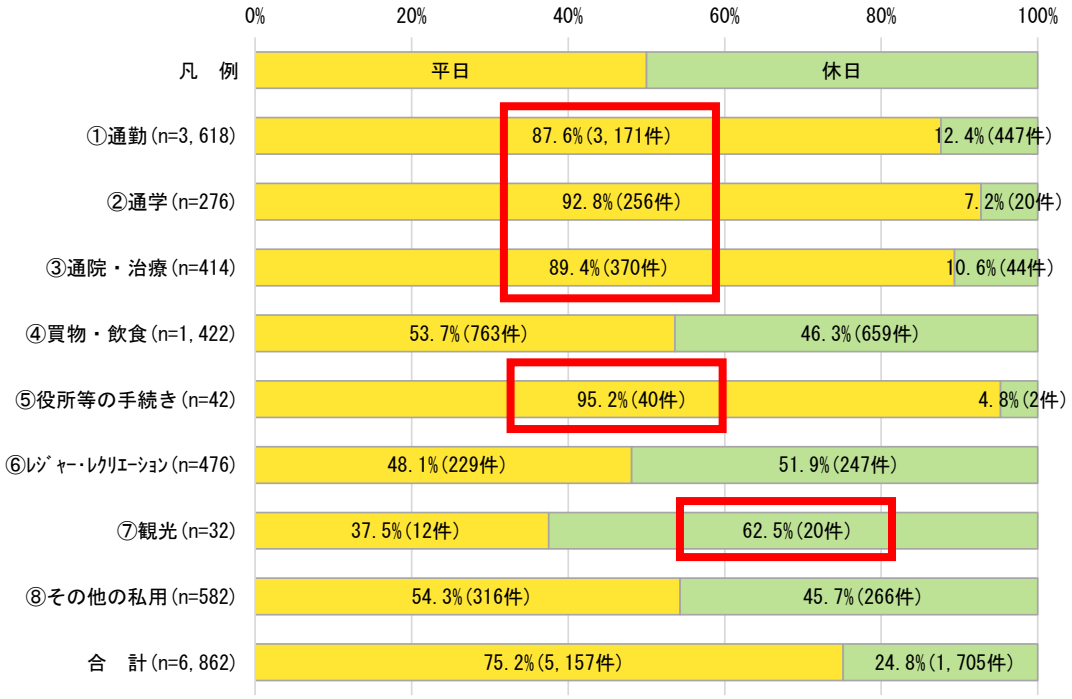


全回答者の一週間の外出数(n=6,862)についての集計

図 1-38 Q12-1-1.主な外出の目的

【平日・休日別】Q12－1. 外出目的

外出目的を平日・休日別に見ると、「①通勤」、「②通学」、「③通院・治療」、「⑤役所等の手続」は平日が多い一方、「⑦観光」は休日、「④買物・飲食」、「⑥レジャー・レクリエーション」、「⑧その他の私用」は平日・休日が概ね半々となっている。

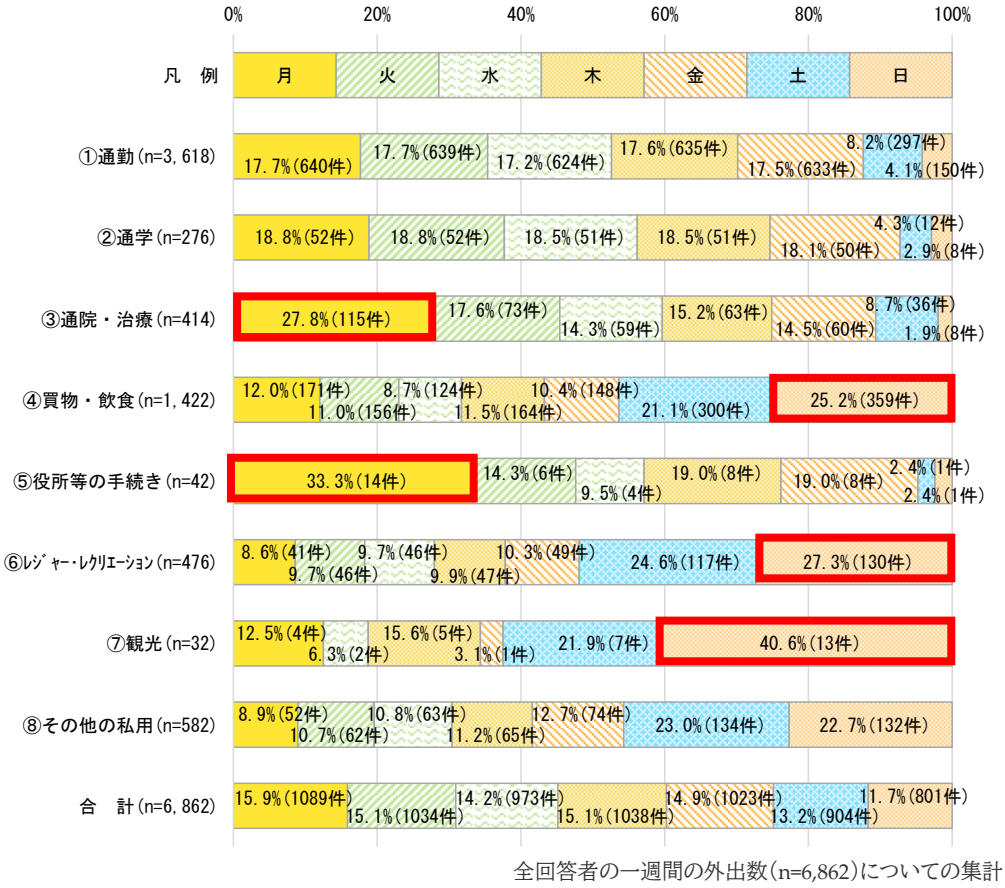


全回答者の一週間の外出数(n=6,862)についての集計

図 1-39 Q12-1-3.平日、休日別の主な外出の目的

【曜日別】Q12－1. 外出目的

外出目的を曜日別に見ると、「③通院・治療」、「⑤役所等の手続」が「月曜日」、「④買物・飲食」、「⑥レジャー・レクリエーション」、「⑦観光」は「日曜日」において 25%を超える。

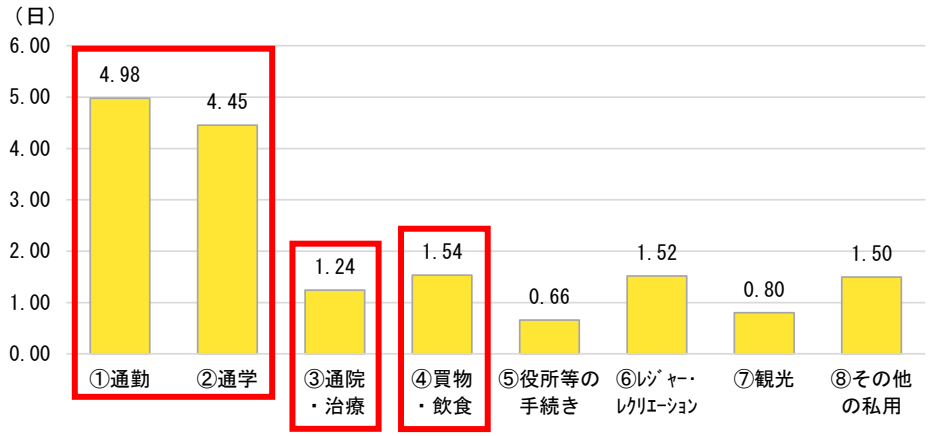


全回答者の一週間の外出数(n=6,862)についての集計

図 1-40　Q12-1-2.曜日別の主な外出の目的

【1週間当たり目的別外出日数】

「①通勤」、「②通学」は週に4、5日で、「④買物・飲食」、「③通院・治療」については週 1.2 日から 1.5 日程度の外出頻度となっている。

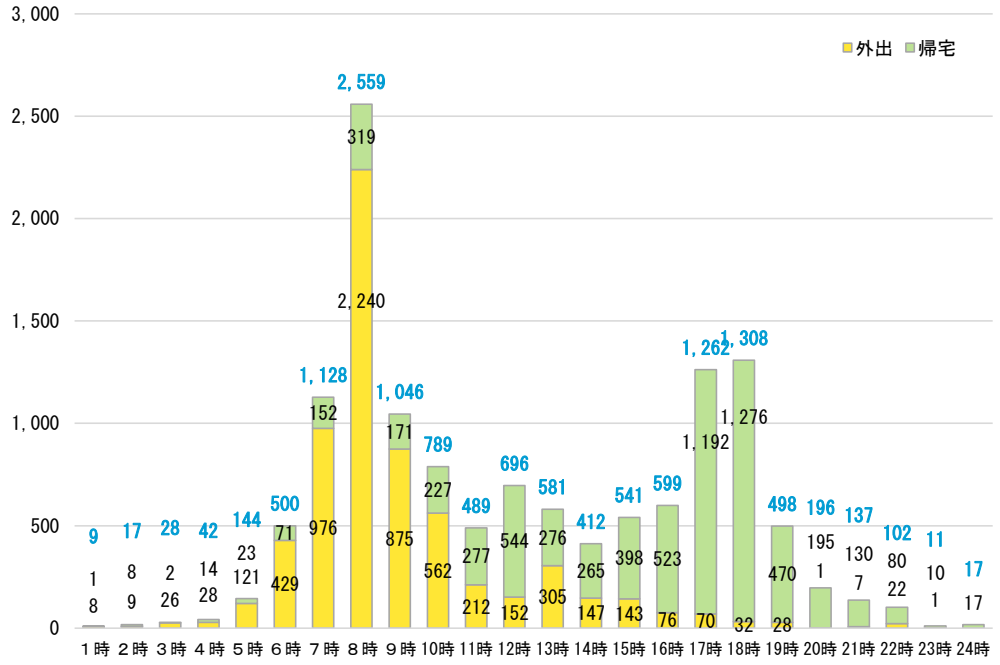


全回答者の一週間の外出数(n=6,862)についての集計

図 1-41　Q12-1-4.目的別の 1 週間当たりの外出日数

Q12－2. 外出・帰宅時間

外出時、家を出た時間については「8 時台」、帰宅の時間については「17 時台」と「18 時台」が多くなっている。

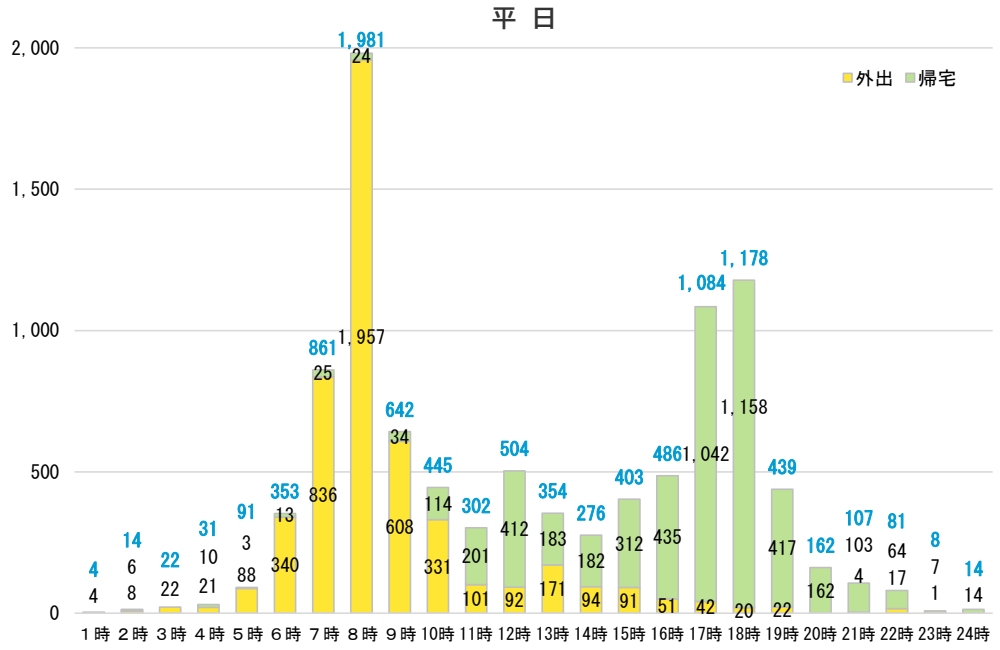


全回答者の一週間の外出・帰宅数（n=13,111）についての集計

図 1-42　Q12-2-1.家を出た時間、帰宅した時間（一週間の合計）

【外出・帰宅時間】(平日)

平日に家を出た時間については「8 時台」、帰宅の時間については「17 時台」と「18 時台」が多く、前頁の一週間の合計と同じ傾向となった。

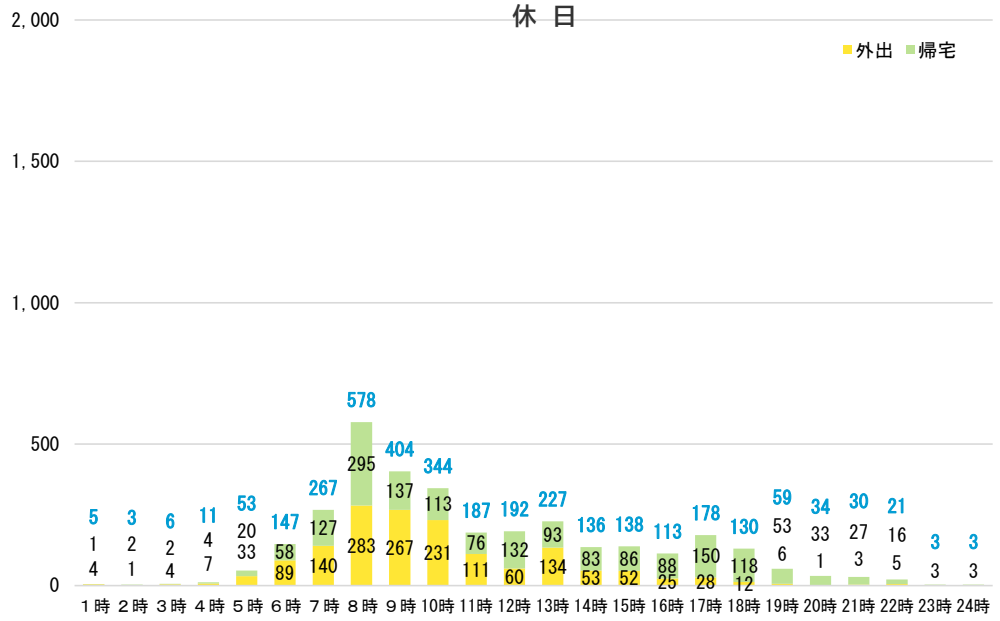


全回答者の一週間の外出・帰宅数のうち、平日の外出・帰宅数(n=9,842)についての集計

図 1-43 Q12-2-2.家を出た時間、帰宅した時間(平日)

【外出・帰宅時間】(休日)

休日に家を出た時間については「8 時台」から「10 時台」が多く、帰宅の時間については「17 時」と「18 時台」が多い。



全回答者の一週間の外出・帰宅数のうち、休日の外出・帰宅数(n=3,269)についての集計

図 1-44 Q12-2-2.家を出た時間、帰宅した時間(休日)

Q12－3. 行先

外出時の行先については平日・休日問わず「①留萌市」が 3,053 件と最も多くなっている。また、「⑦羽幌町」も 835 件と「①留萌市」に次いで多い行先となっている。

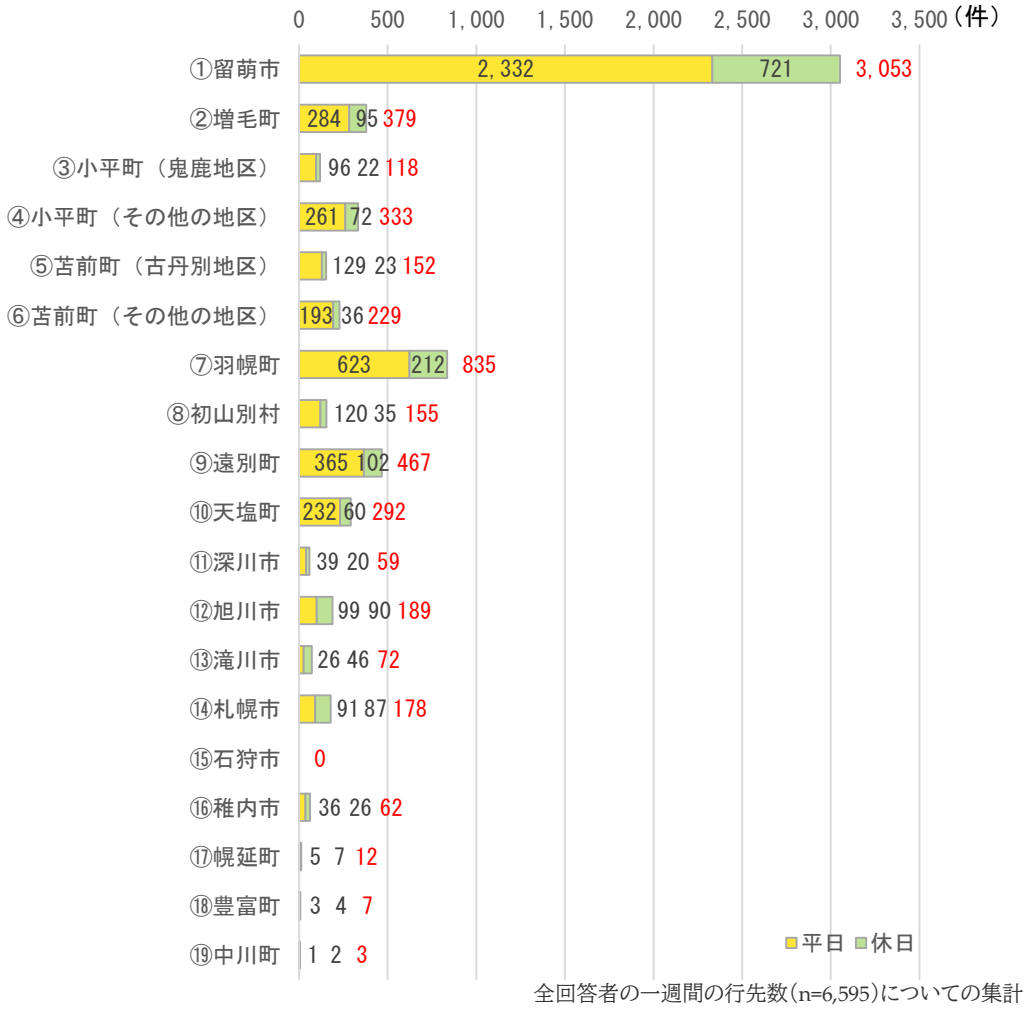
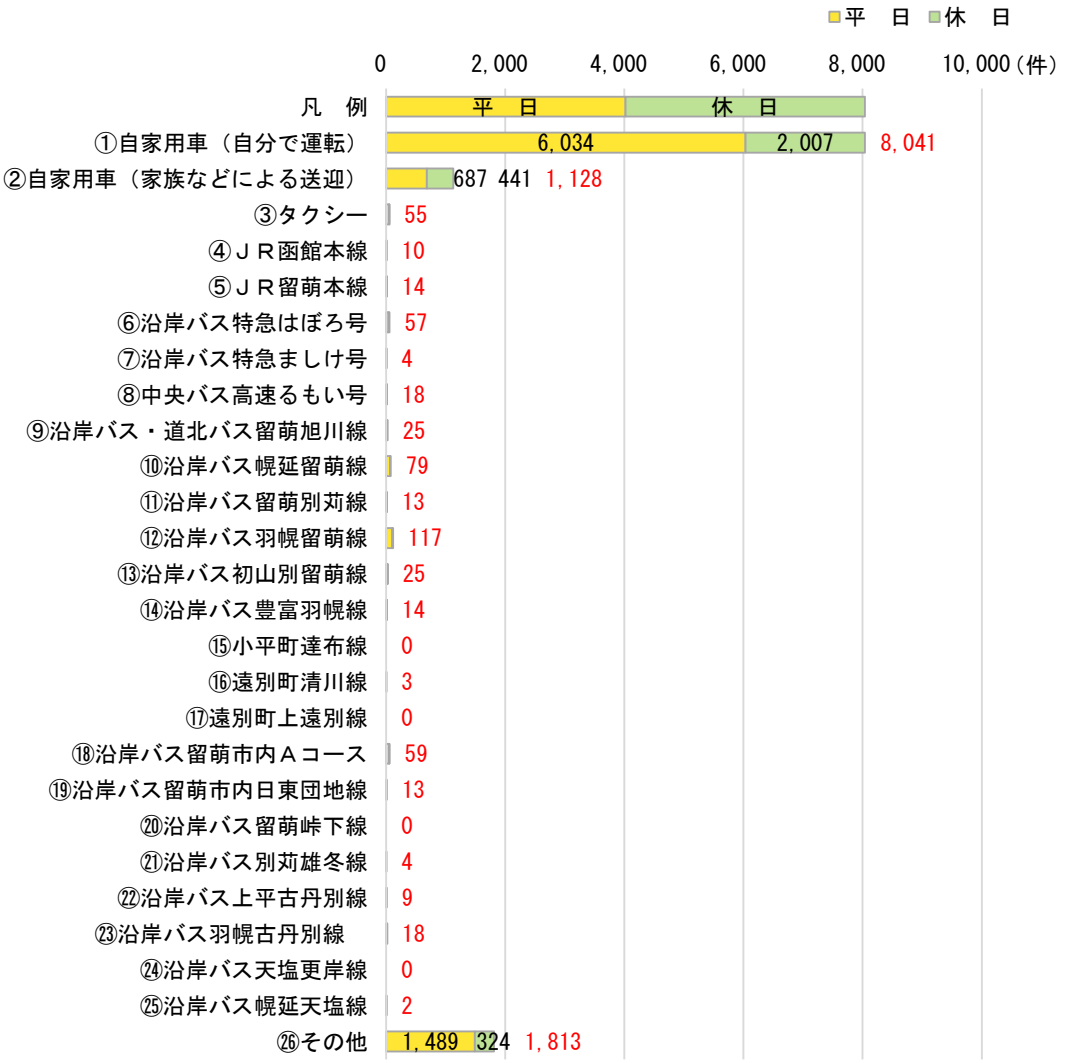


図 1-45 Q12-3.平日、休日別の外出時の行先

Q12－4.「行き」の交通手段・Q12－5.「帰り」の交通手段

「行き」と「帰り」の合計の交通手段としては、「①自家用車（自分で運転」」が 8,041 件と飛びぬけて多く、次いで「②自家用車（家族などによる送迎）」が 1,128 件となっている。

公共交通の利用は「⑫羽幌留萌線」の 117 件が最大となっている。

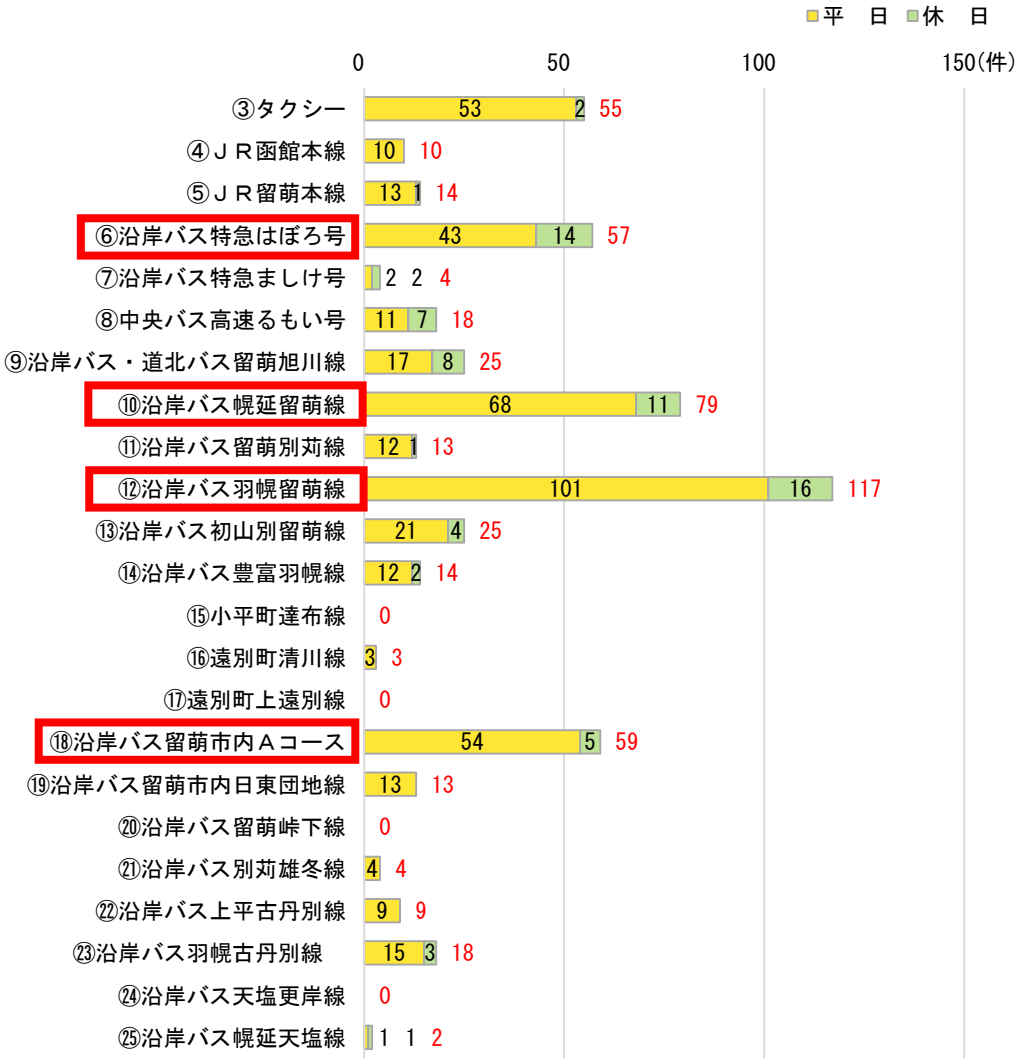


全回答者の一週間の全交通手段利用回数（n=11,521）についての集計

図 1-46　Q12-4-1.行きに利用した交通手段・Q12－5.「帰り」の交通手段

【公共交通手段の利用状況】Q12－4.「行き」の交通手段・Q12－5.「帰り」の交通手段

自家用車以外で帰りに利用した交通手段としては、「⑫羽幌留萌線」が117件と最も多く、続いて「⑩幌延留萌線」が 79 件、「⑱留萌市内Aコース」が 59 件、「⑥特急はぼろ号」が 57 件となっている。

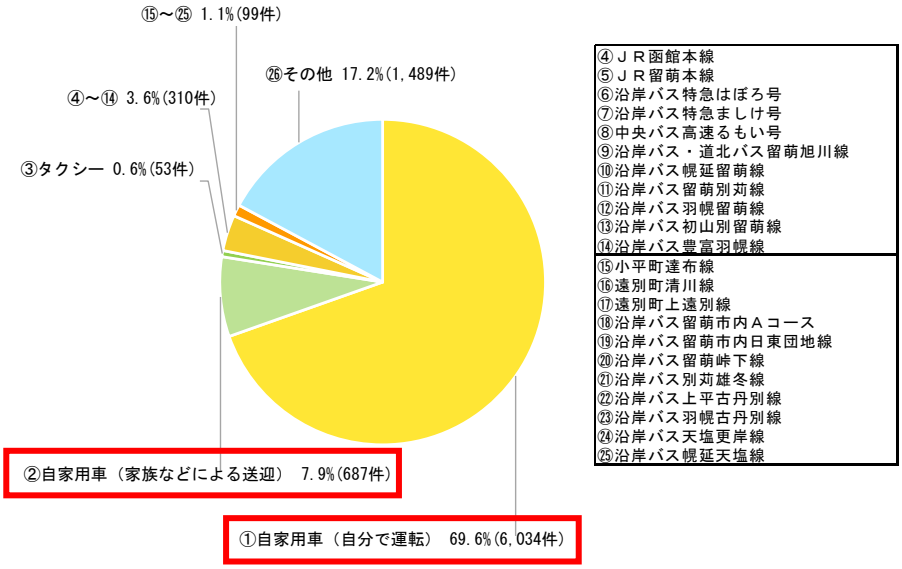


全回答者の一週間の全公共交通手段利用回数(n=539)についての集計

図 1-47　行きに利用した交通手段・Q12－5.「帰り」の交通手段(公共交通)

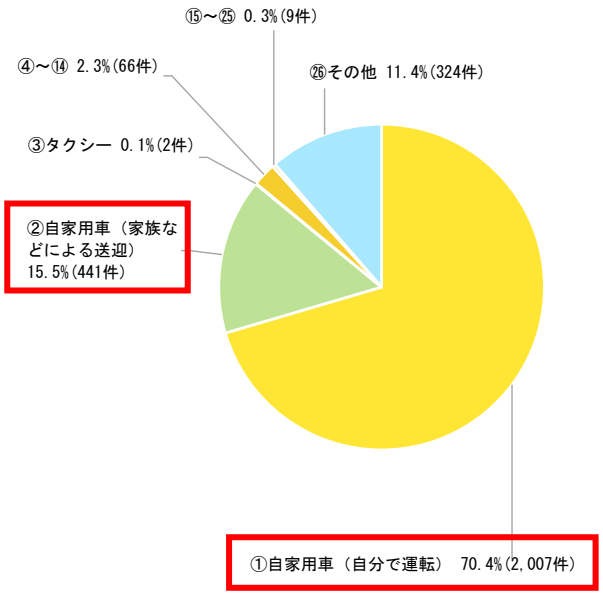
【平日・休日の交通手段の利用状況】

「②家族などによる送迎」は休日が15.5%と「平日」の7.9%よりも多く、公共交通は休日が少ない。



全回答者の平日の全交通手段利用回数(n=8,672)についての集計

図 1-48 Q12-4-1.&12-5-1.平日に利用した交通手段



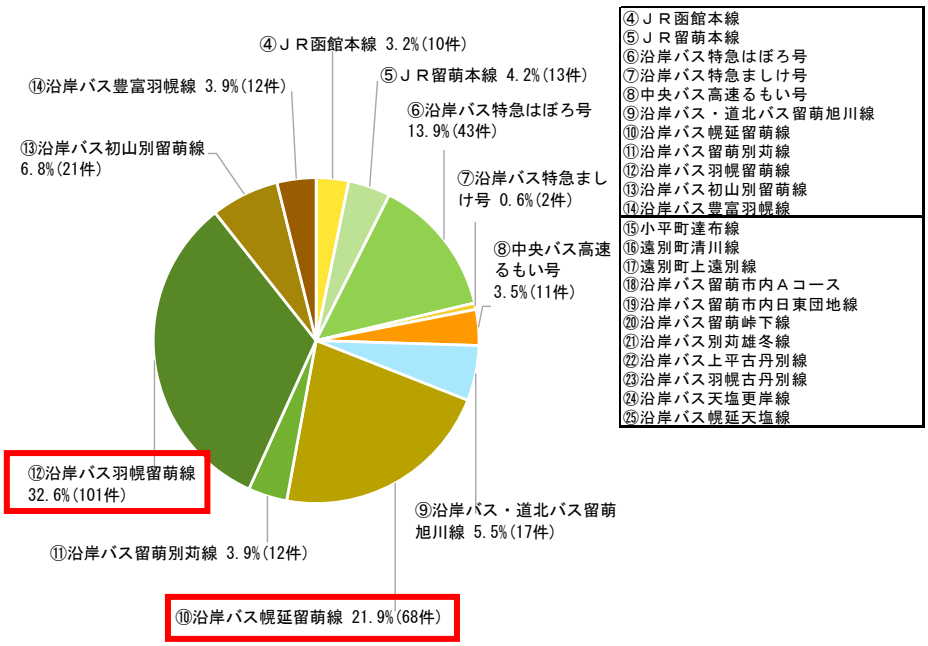
全回答者の休日の全交通手段利用回数(n=2,849)についての集計

図 1-49 Q12-4-1.&12-5-1.休日に利用した交通手段

【平日・休日の公共交通手段の利用状況】(④～⑭市町村を跨ぐ公共交通の利用状況)

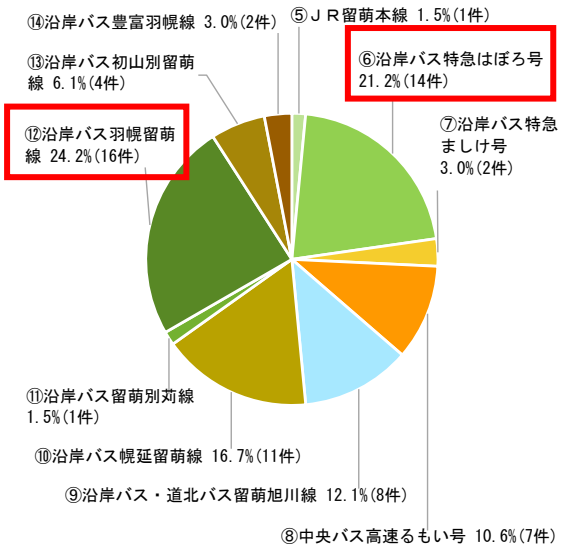
市町村を跨ぐ公共交通の利用状況は、平日が「⑫羽幌留萌線」が 32.6%と最も多く、続いて「⑩幌延留萌線」が 21.9%となっている。

休日については、「⑫羽幌留萌線」が 24.2%と最も多い状況は変わらないが、平日の第2位と第3位が逆転し、「⑥特急はぼろ号」が 21.2%となっている。



全回答者の平日の市町村を跨ぐ公共交通利用回数(n=310)についての集計

図 1-50 Q12-4-1.&12-5-1.平日の管内移動の際に利用した交通手段④～⑭

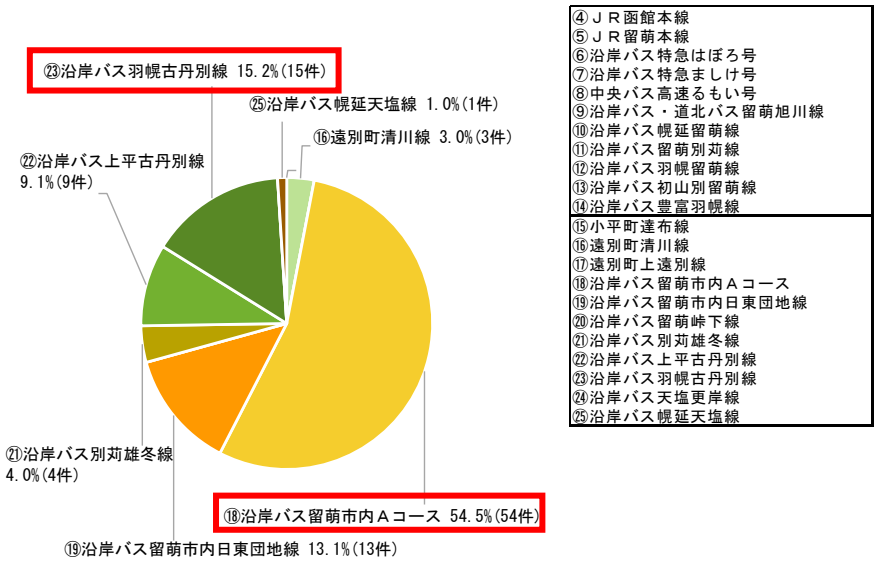


全回答者の平日の市町村を跨ぐ公共交通利用回数(n=66)についての集計

図 1-51 Q12-4-1.&Q12-5-1.休日の管内移動の際に利用した交通手段④～⑭

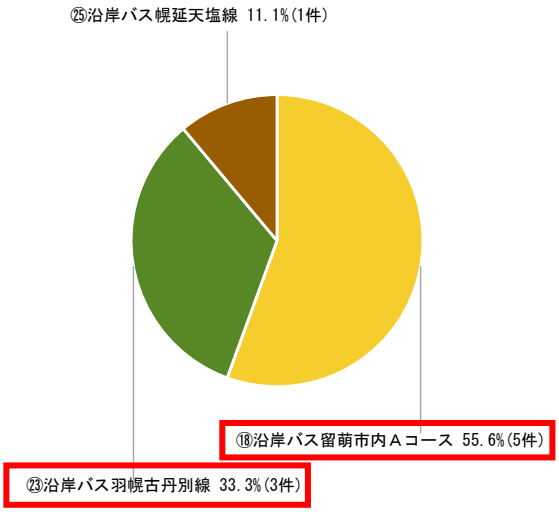
【平日・休日の公共交通手段の利用状況】(⑮～㉕市町村内を運行する公共交通の利用状況)

市町村内を運行する公共交通の利用状況は、平日が「⑱留萌市内Aコース」が 54.5%と最も多く、続いて「㉓羽幌古丹別線」が 15.2%となっている。休日は平日と同様の順で、「⑱留萌市内Aコース」が 55.6%と最も多く、続いて「㉓羽幌古丹別線」が 33.3%となっている。



全回答者の平日の市町村内の公共交通利用回数(n=99)についての集計

図 1-52 Q12-4-1.&12-5-1.平日の管内移動の際に利用した交通手段⑮～㉕



全回答者の休日の市町村内の公共交通利用回数(n=9)についての集計

図 1-53 Q12-4-1.&Q12-5-1.休日の管内移動の際に利用した交通手段⑤～㉕

【全交通手段交通分布】

外出時の行先については、管内では留萌市、羽幌町、天塩町に集中しているほか、管外では札幌市、旭川市、稚内市への移動も見られる。

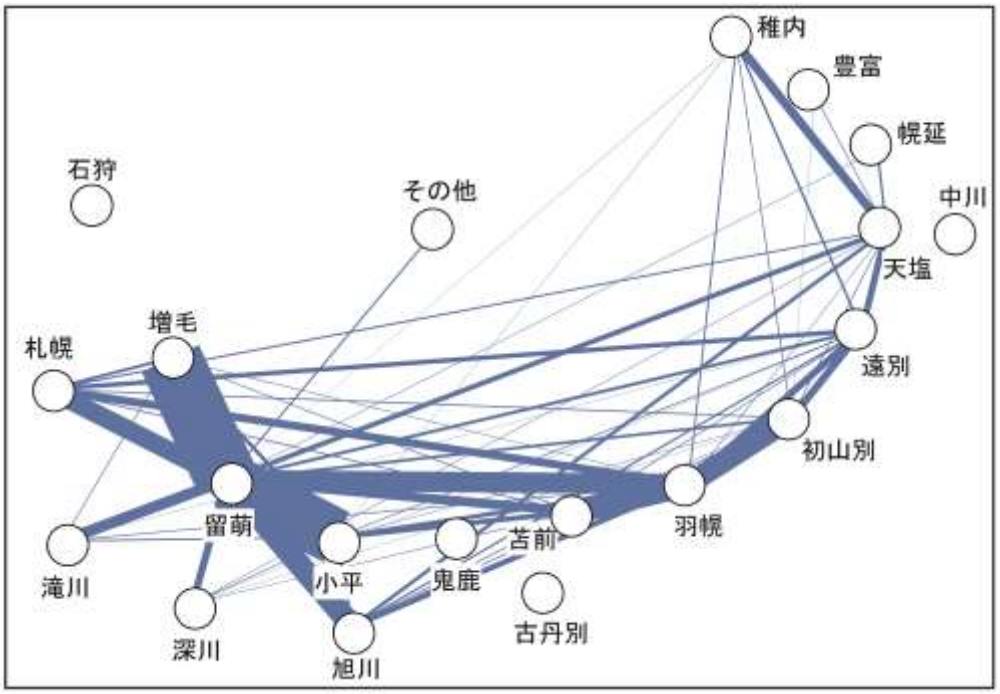


図 1-54　全交通手段交通分布図

表 1-2　全交通手段OD表

D ＼ O	1 ①留萌市	2 ②増毛町	3 ③小平町（鬼鹿地区）	4 ④小平町（その他の地区）	5 ⑤苫前町（古丹別地区）	6 ⑥苫前町（その他の地区）	7 ⑦羽幌町	8 ⑧初山別村	9 ⑨遠別町	10 ⑩天塩町	小計	11 ⑪深川市	12 ⑫旭川市	13 ⑬滝川市	14 ⑭札幌市	15 ⑮石狩市	16 ⑯稚内市	17 ⑰幌延町	18 ⑱豊富町	19 ⑲中川町	小計	合計	20 その他
1 ①留萌市	4,359	129	29	77	12	10	46	8	15	0	4,685	46	146	71	119	0	1	4	0	0	387	5,072	104
2 ②増毛町	272	461	0	22	2	0	4	0	0	0	761	0	12	6	18	0	0	0	0	0	36	797	3
3 ③小平町（鬼鹿地区）	126	0	132	32	19	14	24	0	0	0	347	0	8	2	0	0	2	0	0	0	12	359	16
4 ④小平町（その他の地区）	277	2	20	399	0	0	26	4	6	0	734	6	17	10	20	0	0	0	0	0	53	787	16
5 ⑤苫前町（古丹別地区）	22	4	0	0	107	131	35	1	6	0	306	4	8	0	8	0	0	0	0	0	20	326	4
6 ⑥苫前町（その他の地区）	48	0	18	0	54	218	112	4	0	0	454	0	4	0	1	0	0	0	0	0	5	459	0
7 ⑦羽幌町	85	0	0	0	22	42	945	64	18	0	1,176	2	36	6	50	0	10	0	0	0	104	1,280	6
8 ⑧初山別村	10	0	0	0	0	0	76	141	6	6	239	2	8	0	8	0	6	0	2	0	26	265	4
9 ⑨遠別町	6	0	0	0	0	0	27	42	677	25	777	2	11	2	29	0	14	0	0	0	58	835	24
10 ⑩天塩町	32	0	0	0	0	0	4	0	17	435	488	3	22	0	11	0	57	14	6	0	113	601	11
小計	5,237	596	199	530	216	415	1,299	264	745	466	9,967	65	272	97	264	0	90	18	8	0	814	10,781	188
11 ⑪深川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 ⑫旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 ⑬滝川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 ⑭札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ⑮石狩市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 ⑯稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 ⑰幌延町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 ⑱豊富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 ⑲中川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	5,237	596	199	530	216	415	1,299	264	745	466	9,967	65	272	97	264	0	90	18	8	0	814	10,781	188

【公共交通手段交通分布】

公共交通は全交通手段の 3.6%となっている。行先としては、留萌市、羽幌町が比較的多く見られ、管外では札幌市が多く見られる。

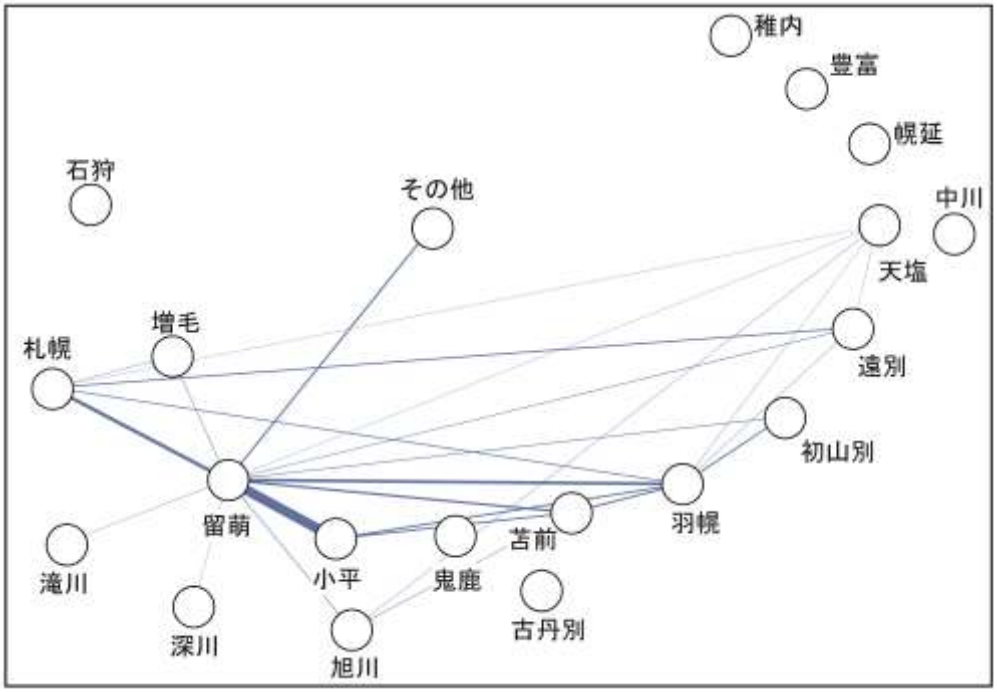


図 1-55 公共交通分布図(現況)

表 1-3 公共交通OD表

D / O	1 ①留萌市	2 ②増毛町	3 ③小平町（鬼鹿地区）	4 ④小平町（その他の地区）	5 ⑤苫前町（古丹別地区）	6 ⑥苫前町（その他の地区）	7 ⑦羽幌町	8 ⑧初山別村	9 ⑨遠別町	10 ⑩天塩町	小計	11 ⑪深川市	12 ⑫旭川市	13 ⑬滝川市	14 ⑭札幌市	15 ⑮石狩市	16 ⑯稚内市	17 ⑰幌延町	18 ⑱豊富町	19 ⑲中川町	小計	合計	20 その他
1 ①留萌市	97	0	0	4	0	0	0	0	0	0	101	2	4	2	22	0	0	0	0	0	30	131	11
2 ②増毛町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	7	0
3 ③小平町（鬼鹿地区）	62	0	0	0	10	0	10	0	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	0
4 ④小平町（その他の地区）	57	0	0	1	0	0	10	0	0	0	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	0
5 ⑤苫前町（古丹別地区）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
6 ⑥苫前町（その他の地区）	13	0	0	0	0	0	10	0	0	0	23	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	25	0
7 ⑦羽幌町	19	0	0	0	0	0	3	0	0	0	22	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7	29	0
8 ⑧初山別村	5	0	0	0	0	0	9	1	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0
9 ⑨遠別町	4	0	0	0	0	0	2	0	1	2	9	0	0	0	8	0	0	0	0	0	8	17	0
10 ⑩天塩町	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	4	0	2	0	2	0	0	0	0	0	4	8	0
小計	262	1	0	5	10	0	46	1	1	4	330	2	8	2	41	0	0	0	0	0	53	383	11
11 ⑪深川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 ⑫旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 ⑬滝川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 ⑭札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ⑮石狩市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 ⑯稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 ⑰幌延町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 ⑱豊富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 ⑲中川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	262	1	0	5	10	0	46	1	1	4	330	2	8	2	41	0	0	0	0	0	53	383	11

【「便利になれば利用」を含む交通分布】

公共交通が「便利になれば利用する」との回答を合計すると、実際に公共交通手段を利用しているとの回答（383 件）と比較し 1.8 倍（684 件）となる。行先は管内では留萌市、羽幌町、天塩町が多く見られ、管外では札幌市、旭川市が比較的多く見られる。

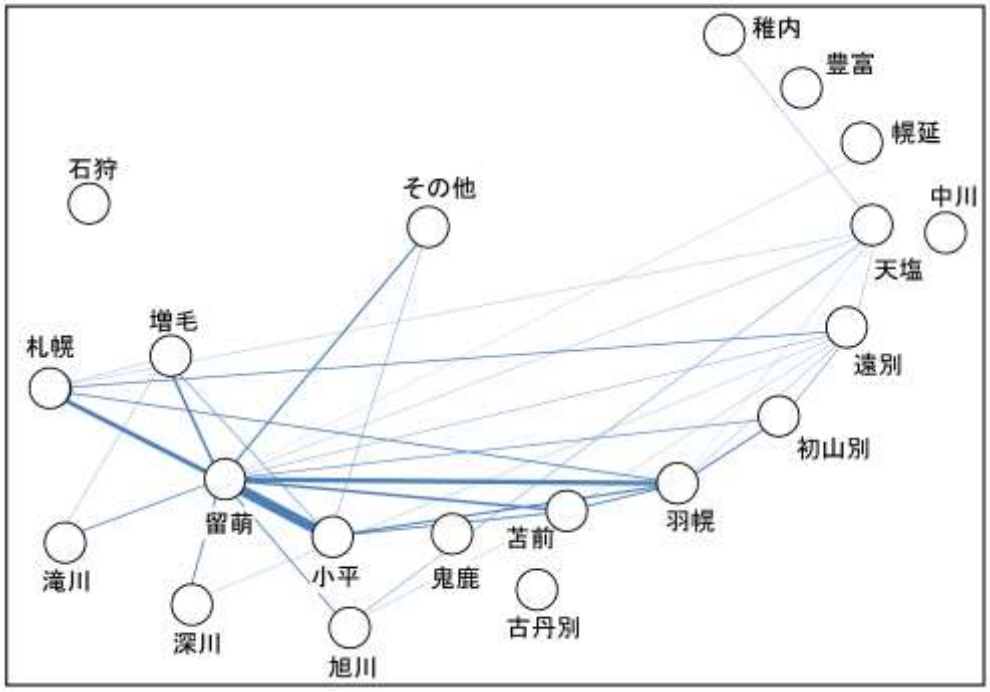


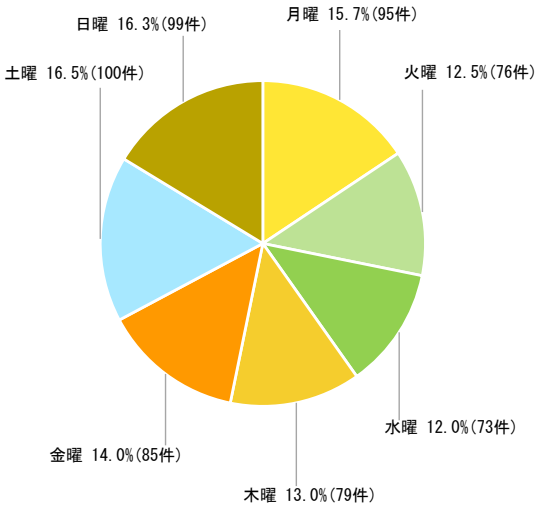
図 1-56 「便利になれば利用」を含む交通分布図

表 1-4 「便利になれば利用」を含むOD表

D / O	1 ①留萌市	2 ②増毛町	3 ③小平町（鬼鹿地区）	4 ④小平町（その他の地区）	5 ⑤苫前町（古丹別地区）	6 ⑥苫前町（その他の地区）	7 ⑦羽幌町	8 ⑧初山別村	9 ⑨遠別町	10 ⑩天塩町	小計	11 ⑪深川市	12 ⑫旭川市	13 ⑬滝川市	14 ⑭札幌市	15 ⑮石狩市	16 ⑯稚内市	17 ⑰幌延町	18 ⑱豊富町	19 ⑲中川町	小計	合計	20 その他
1 ①留萌市	232	6	1	6	0	0	0	0	0	0	245	9	8	8	28	0	0	1	0	0	54	299	12
2 ②増毛町	10	29	0	5	0	0	0	0	0	0	44	0	0	2	2	0	0	0	0	0	4	48	0
3 ③小平町（鬼鹿地区）	63	0	0	0	10	1	10	0	0	0	84	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84	4
4 ④小平町（その他の地区）	60	0	0	6	0	0	12	0	0	0	78	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	82	0
5 ⑤苫前町（古丹別地区）	1	0	0	0	0	6	4	0	2	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0
6 ⑥苫前町（その他の地区）	16	0	0	0	0	5	10	0	0	0	31	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	33	0
7 ⑦羽幌町	29	0	0	0	0	0	20	0	0	0	49	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	58	0
8 ⑧初山別村	6	0	0	0	0	0	10	1	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0
9 ⑨遠別町	4	0	0	0	0	0	2	5	11	2	24	1	0	0	8	0	0	0	0	0	9	33	0
10 ⑩天塩町	1	0	0	0	0	0	1	0	1	6	9	0	3	0	2	0	3	0	0	0	8	17	0
小計	422	35	1	17	10	12	69	6	14	8	594	10	13	10	53	0	3	1	0	0	90	684	16
11 ⑪深川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 ⑫旭川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 ⑬滝川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14 ⑭札幌市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 ⑮石狩市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16 ⑯稚内市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17 ⑰幌延町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 ⑱豊富町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 ⑲中川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小　計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	422	35	1	17	10	12	69	6	14	8	594	10	13	10	53	0	3	1	0	0	90	684	16

Q12－6. 自家用車からデマンド交通への転換

「バスより少し高い運賃で、自宅と目的地を結ぶ公共交通が運行する場合、この公共交通の利用に変えても良い曜日があるか」について、どの曜日でもほぼ同数の回答となっている。



全ての回答者の内、公共交通が便利になると自家用車から公共交通に転換する数(n=607)についての集計

図 1-57 Q12-6.バスより少し高い運賃で、自宅と目的地を直接結ぶ公共交通が運行する場合、この公共交通の利用に変えても良い曜日はあるか(平日、休日)
(Q12-4-1.,Q12-5-1.自家用車で移動していると回答した方のみ回答)

Q12－7. 公共・公益施設へのアクセス

実際に訪れた場所については、病院が「A-1 留萌市立病院」、高校は「B-1 北海道留萌高等学校」、商業施設は「C-1 マックスバリュ留萌店」が多い。

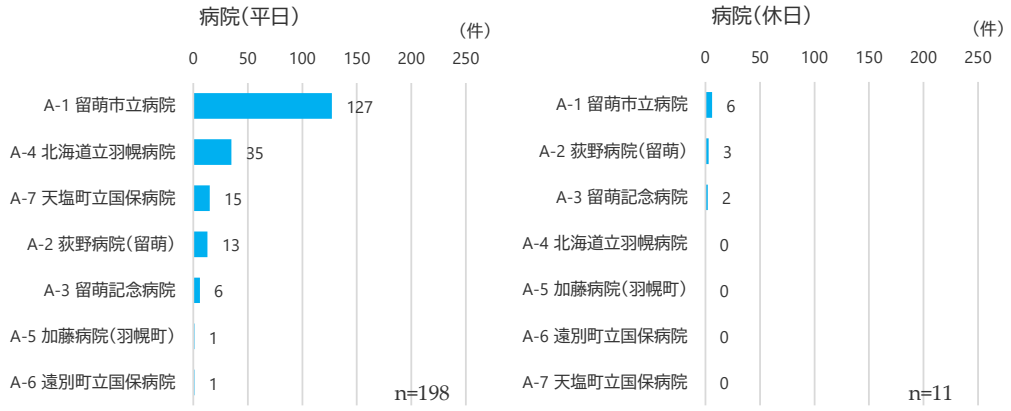


図 1-58　Q12-7-1.実際に訪れた病院(平日、休日)

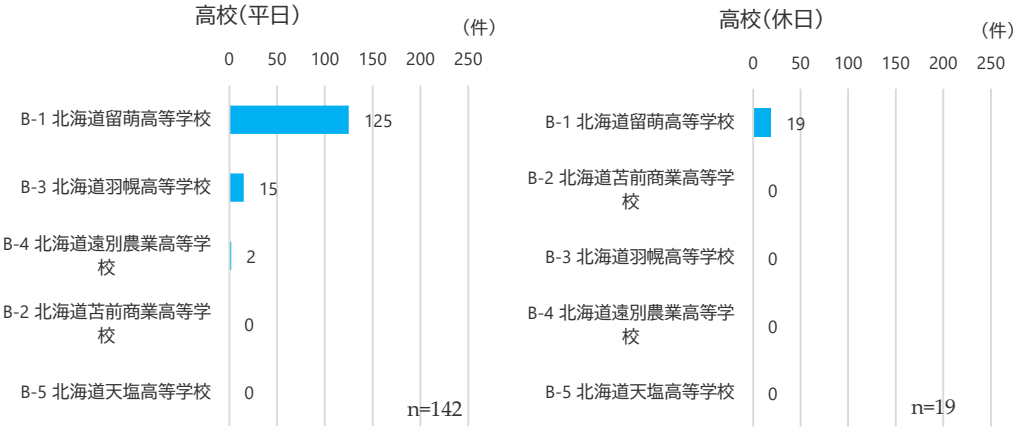


図 1-59　Q12-7-2.実際に訪れた高校(平日、休日)

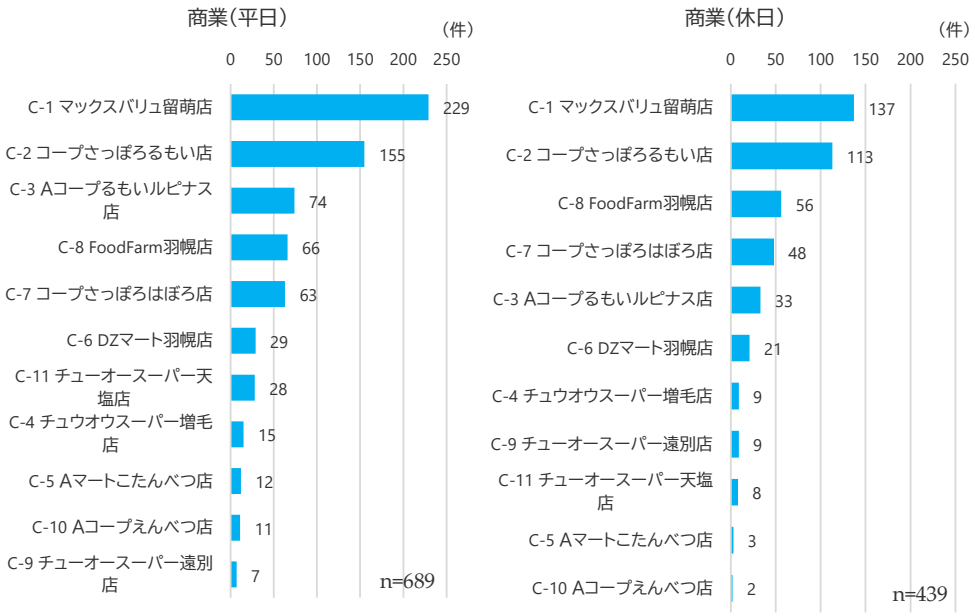


図 1-60　Q12-7-2.実際に訪れた商業施設(平日、休日)

【病院、高校、商業施設の全体で見たアクセス数の順位】

病院、高校、商業施設の全体で見たアクセス数が多い施設は、平日・休日とも「C-1 マックスバリュ留萌店」が最も多く、続いて「C-2 コープさっぽろるもい店」となっている。

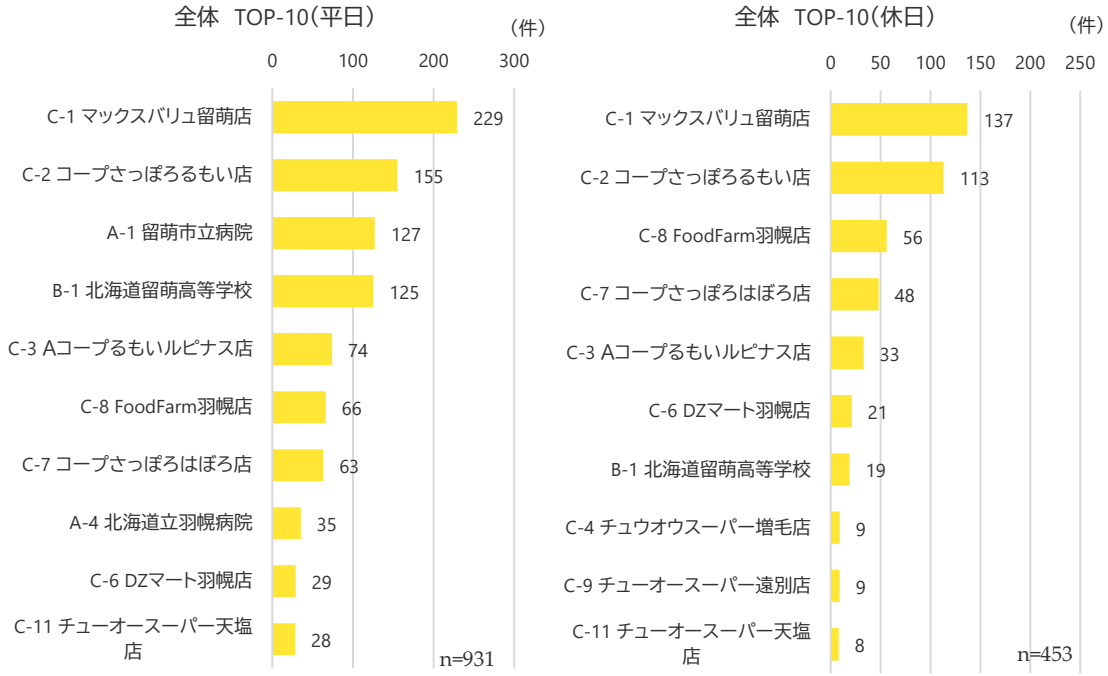


図 1-61　Q12-7-2.実際に訪れた施設上位 10 施設(平日、休日)

Q12－8. 拠点病院、商業施設など大きな施設へのアクセス

拠点病院や商業施設など大きな施設に行く場合、医療施設は「A-1 留萌市立病院」、商業施設は「C-1 マックスバリュ留萌店」となってり、普段行く施設と同様の結果となった。

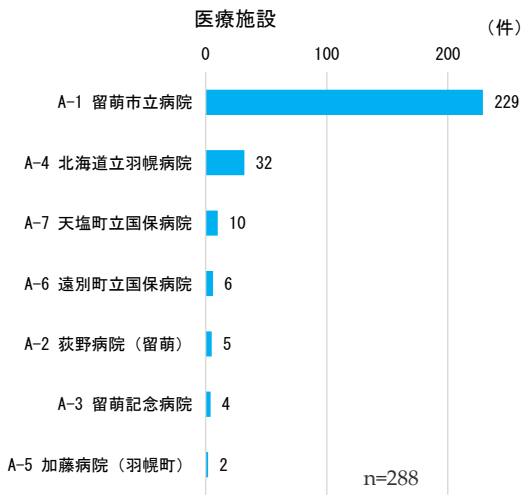


図 1-62　Q12-8-1.大きな施設に行く場合、行く施設(通院)

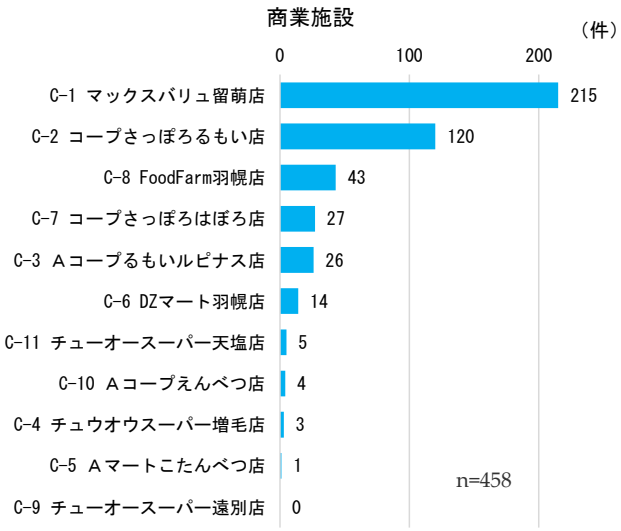


図 1-63　Q12-8-2.大きな施設に行く場合、行く施設(買い物)

3) 今後の公共交通への要望等

Q13. 公共交通のサービス水準

自家用車に頼らない生活を送るときには、公共交通は現在の「②バスとタクシーの中間」のような役割を果たすべきだと思うと回答した割合が最も多く、33.5%となっている。

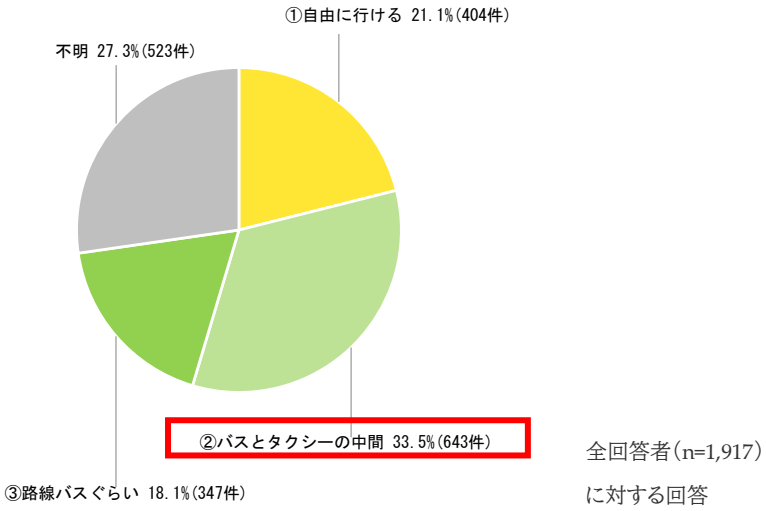


図 1-64 Q13.自家用車に頼らない生活を送るときに公共交通があるべき姿

【年齢構成別】

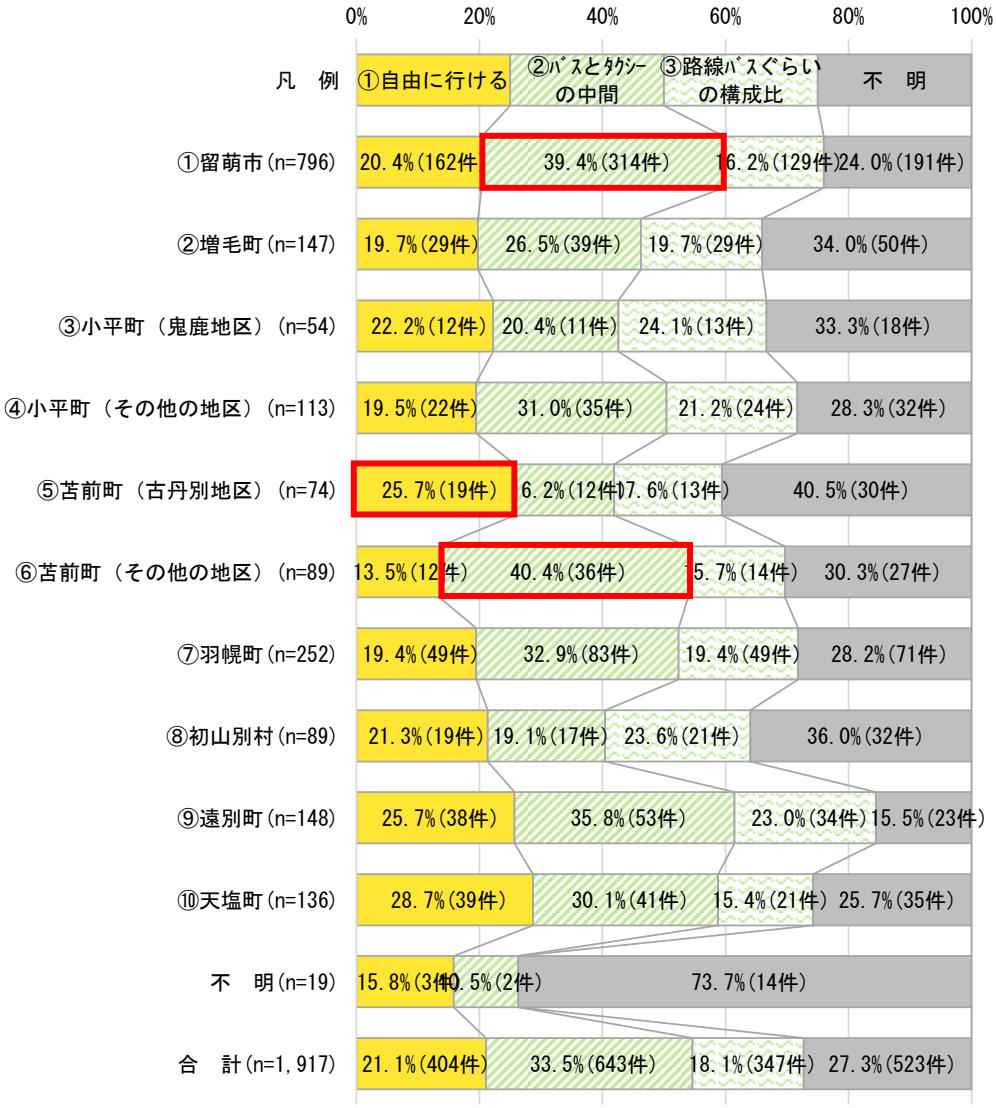
年齢別に見ると、16～74 歳の各年代で「②バスとタクシーの中間」のような役割を果たすべきという回答が多かった。

全回答者(n=1,917)に対する回答

図 1-65 Q13.公共交通のあるべき姿(Q4.年齢構成別)

【居住地域別】

地域別に見ると、留萌市と苫前町（その他の地区）では現在のバスとタクシーの中間のような役割を果たすべきだと思うと回答した割合が比較的多い一方、苫前町（古丹別地区）ではタクシー等の自家用車の利便性と同じような公共交通にすべきだという回答が多くなっている。



全回答者（n=1,917）に対する回答

図 1-66　Q13.公共交通のあるべき姿（Q1.居住地域）